

概要

本校は、昭和23年に創設され、平成29年に70周年を迎えた、歴史と伝統のある中学校です。昭和29年に建てられた校舎は、熊本県下で最初に作られた鉄筋コンクリートの校舎でした。しかし大地震には耐えられない状況になった平成23年、新校舎が4階建てとなって再建されました。今も、正門に入ると学校のシンボルツリーである「カナリーヤシ」というフェニックスが来訪者を迎えてくれます。

また、これまで「環境は人を育てる」をコンセプトに、一人一鉢による菊作りなど、校内の環境緑化を推進しながら「緑化コンクール」で数々の賞を獲得しています。部活動では、昭和55年に全日本少年野球大会で野球部が全国優勝を成し遂げています。最近では卓球部が全国大会・九州大会の常連校と言われるほどの活躍を見せてくれました。また、全国ものづくり教育フェア木工の部で平成22・23年と連続で「文部科学大臣奨励賞」(日本一)を獲得した女子生徒もいました。

これからも、これまでの伝統を継承していくよう全職員・全校生徒で頑張っていきます。

校訓

「誠実」 「克己」 「感謝」

誠実・・・明るく清く素直な心をもつことです。

克己・・・己に打ち克つ心を持ち、礼儀正しく粘り強い行動ができることです。

感謝・・・あらゆるものに「有難う」の気持ちを伝えることができる態度のことです。

今、学校は・・・

生徒たちは、朝8時10分までに登校し、落ち着いた雰囲気朝の会から学校生活が始まります。また、掃除の時間は「無言掃除」に取組み、体育館の入場や退場も無言で行っています。そして、授業中は静かに集中し、私語を発する生徒はほとんどおらず、生徒と先生の和やかな会話の下で落ち着いた授業が展開されています。

放課後になると、部活動が毎日活発に行われていて、運動場や体育館には元気な声がかまっています。ただ、毎週火曜日は「ノー部活デイ・ノー残業デイ」とし、生徒も職員も心と体のリフレッシュを図っています。

これから・・・

全ての生徒が「通いたくなる江原中学校」となるよう、一人一人の生徒が大切にされた学校にしていきます。そのために、全職員が豊かな人権感覚を身につけていくよう日々努力しています。更に、生徒の学力向上を目指して、日々の授業が「主体的で、対話的で、深い学び」となるよう、全職員が一枚岩となって頑張っています。